

【公報種別】実用新案法第14条の2の規定による訂正明細書等の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【登録番号】実用新案登録第3118999号(U3118999)

【訂正の登録日】平成18年8月4日(2006.8.4)

【登録公報発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【出願番号】実願2005-7311(U2005-7311)

【国際特許分類】

A 47K 3/12 (2006.01)

【F I】

A 47K 3/12

【訂正書】

【提出日】平成18年7月19日(2006.7.19)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮等

【訂正の内容】

【考案の詳細な説明】

【考案の名称】ひざらくらく風呂椅子

【考案の説明】

【技術分野 1】

本考案は風呂椅子に関するものである

【背景分野 1】

入浴前、身体の陰部や肛門を洗って清潔にします。

その時、腰を掛けたまま容易に流せます。

考案の椅子は、前・横・後の区別が無くどの様な座り方をしても使用できる。

従来の風呂椅子は、座面の中央に小さな穴があり湯水を逃がすようになっているが、本考案椅子は全体に座面を大きく円形に開けている。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

浴槽に入る前に陰部や肛門等を洗い清潔にする

【考案が解決するための手段】

本考案の風呂椅子を使って清潔にする

【考案の効果】

浴槽に入る前に陰部や肛門等を洗った時の汚れた湯水はすぐに流れ落ち、衛生的である。

【考案を実施する為の最良の形態】

風呂椅子全体の形状がで円筒形でかつ、座面を大きく丸くくりぬいたリング形状だから風呂椅子に座って陰部、肛門を洗う時も、

風呂椅子が全く邪魔にならずに利用できる。

【実施例】

本考案椅子の高さや大きさは、S・M・Lの3種(階段別)に作ってあれば万人が使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の立体図

【図2】本考案の真上から見た図

【図3】本考案の底から見た図

【図4】本考案の真横から見た図

【符号の説明】

1 本考案の座面

2 本考案の円筒形の脚

3 湯水が流出する溝

- 4 本考案の脚の底の滑り止めのゴム製品
- 5 本考案の座面
- 6 座面の内壁
- 7 座面の外壁
- 8 本考案の脚の部分からの湯水が流出する溝
- 9 本考案の脚の底の滑り止めのゴム製品
- 1 0 本考案の座面
- 1 1 本考案の円筒形の脚
- 1 2 本考案の脚の底の滑り止めのゴム製品
- 1 3 本考案の脚の部分からの湯水が流出する溝

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

「 風呂椅子において、

- (1) 風呂椅子全体の形状は円筒形。
- (2) 座面は円型の中を大きくくりぬいたリング形状。
- (3) 風呂椅子の脚は円筒形の下部2ヶ所を湯水が流れ出る道として開口。
- (4) 風呂椅子の材質は、木、ポリエチレン、アクリル。
- (5) 床に接する脚の部分にはエラストマー樹脂を使用。

以上の構成からなる風呂椅子。」